

I 法人本部

1. 基本方針及び基本理念

1997年法人設立当初より掲げてきた、自然との共生を目指し、ものづくりひとすじの思いを土台とした法人運営を行った。

～ 基本理念 ～

- ・ 私たちは、自然との共生・地球環境の保全に寄与し、資源の循環を目指します
- ・ 私たちは、自然の中に生かされていることを自覚し、地域とともに、共生社会の発展に努めます
- ・ 私たちは、利用者さんの自己実現のために、一人ひとりにしっかり寄り添い、声なき声をくみ取ります
- ・ 私たちは、職員一人ひとりが法人の一員であることを自覚し、社会人として常に研鑽を積んでいきます

——— 平成28年2月25日制定 ———

2. 令和4年度 重点取り組み事項

(1) 御下賜金の拝受

令和4年度、優良民間社会福祉事業施設として、社会福祉法人遠江学園「ひくまの」が選ばれ、令和5年2月、天皇陛下より御下賜金を賜りました。今回の拝受に際し、お世話になりました皆様方に深くお礼申し上げます。
今後この榮譽に恥じることはないよう、適正な法人経営と施設運営に励んで参ります。

(2) 中期経営計画の進捗状況（2020年度～2024年度）

令和2年度策定の中期経営計画、3年目の進捗状況は、達成できた項目は約30%、概ね達成を含めると約88%、課題は若干残っているが、概ね達成を含めると90%弱の達成。
次年度にむけて、順調に推移している。詳細については、事業所毎、事業報告として掲載。

(3) 土地取得（実習農園）及び運営

<取得>

- ・ 令和4年8月5日売買契約締結 9月28日決済
- ・ 令和5年1月13日定款変更
- ・ 名称「ひくまのファーム」

所在地	地目	地積 (m ²)
浜松市北区細江町中川 7172-162	畑	1,553
〃 7172-2043	畑	560
浜松市北区根洗町 509	畑	349
〃 508-3	雑種地	293
計		2,755

<運営>

- ・ 農福連携事業「農業技術向上個別支援」（県事業）の活用
（株）和光アグリパートナーから作物の栽培、販売全般を通して指導助言を受けた。
令和4年度 技術指導4回実施
- ・ 栽培作物：小麦・和綿・里芋等

(4) 新型コロナウイルス感染症クラスター発生（ひくまの）

- ・ 新型コロナウイルス感染症については、まん延初期より施設全体で感染症対策を徹底して行ってきた。しかし、第7波では、夏季休暇後、感染が瞬く間に広がり、施設内クラスターが発生。
- ・ グループホーム「あかね」から、「ひくまの」へ、そこから他の利用者、職員へと感染が拡大、一時休業し、9月5日通常業務に戻る。

3. 評議員会・理事会等

(1) 評議員会（2回）

開催月日	出席者数	審議事項
令和4年6月14日 第1回	評議員 8名 理事 2名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> 決議事項 令和3年度計算書類（貸借対照表及び収支計算書） 附属明細書並びに財産目録の承認の件 報告事項 令和3年度事業報告の件 実習農園土地購入（定款変更）の件
令和4年10月25日 第2回 決議の省略	評議員 8名	社会福祉法第45条の9の第10項が準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条1項及び定款第13条に基づく評議員会の決議の省略 <ul style="list-style-type: none"> 決議の省略 （福）遠江学園定款変更の件 （福）遠江学園令和3年度決算資料の誤記の件

(2) 理事会（5回）

開催月日	出席者数	審議事項
令和4年5月27日 第1回	理事 6名 監事 1名	決議事項 <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度事業報告 令和3年度計算書類、附属明細書及び財産目録承認 定時評議員会招集の件 経理規程の改正 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> 土地購入（定款変更）の件 理事長及び業務執行理事の職務執行状況の報告
令和4年10月13日 第2回	理事 7名 監事 2名	決議事項 <ul style="list-style-type: none"> （福）遠江学園令和3年度決算資料の誤記の件 令和4年度第一次補正予算の件 定款変更の件 評議員会開催の件（決議の省略）
令和4年11月10日 第3回 決議の省略	理事 7名 監事 2名	社会福祉法第45条の9の第10項が準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条及び定款第26条に基づく理事会の決議の省略 <ul style="list-style-type: none"> 決議事項 令和4年度第二次補正予算の件
令和5年3月15日 第4回	理事 7名 監事 2名	決議事項 <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度第三次補正予算 令和5年度事業計画、当初予算の件 令和5年度役員賠償責任保険の件 給与規程の改正 就業規程の改正 運営規程の改正 「ひくまの、みなみ、まつかさ」 「やしま、あかね、ショートステイ」
令和5年3月30日 第5回 決議の省略	理事 7名 監事 2名	社会福祉法第45条の9の第10項が準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条及び定款第26条に基づく理事会の決議の省略 <ul style="list-style-type: none"> 決議事項 令和4年度第四次補正予算の件

(3) 監事監査（業務執行状況、及び財産の状況を監査）

開催月日	種別	監査項目
令和4年5月20日	決算監査	・令和3年度事業報告書 ・令和3年度計算書類及びその附属明細書並びに財産目録
令和4年11月15日	定期監査	・令和4年度中間(令和4年4月～令和4年9月)業務監査・会計監査

(4) 会計事務所による月次指導

開催月日	内 容
毎月1回	・会計処理業務の指導及び経営支援

(5) 浜松市による社会福祉施設等の指導監査（法人監査）

開催日時	指 導 項 目
	なし

4. 会議・研修等

(1) 内部会議

会 議	実施（曜）日	参 加 者
運営会議	月1回	理事長、施設長、事務長、次長
虐待防止委員会	月1回	理事長、施設長、事務長、次長
企画会議	第2火曜日	主任、サービス管理責任者
工賃評定会議	半年に1回・適宜	園長、サービス管理責任者、主任
職員会議	毎月1回 毎朝(15分)、毎夕(15分)	全 員
支援会議	2か月に1回・適宜	全 員

(2) 内部研修

研 修 名	内 容
法人全体職員研修	・年2回テーマ別研修会を実施 11.19 テーマ「チームで取り組もう。マネジメントの実践」 3.31 テーマ「利用者さんのこと、どれだけ分かっていますか」 サポーターズカレッジを活用、その他 意見交換 令和4年度補正予算、授産事業について等
新規採用職員研修	・法人理念、就業規程・給与規程、倫理綱領等 グループ討議
内部研修会	・オンライン研修サービス「サポーターズカレッジ」を活用 キャリア別、希望するテーマ別研修。
自己啓発研修	・業務の振り返りチェックシートを使用して自己啓発につとめた。
個別支援研修	・事業所毎に研修計画を立て、年間6～12回実施。 支援への共通認識を深め、相談しやすい職場づくりも兼ねた。

(3) 外部会議

- ・管理部門研修： 新型コロナの影響でリモートによる会議。
- ・キャリアアップ研修： 年間18回の研修に、施設長・サビ管他、22人が参加（リモート含む）

5. 施設運営

(1) 施設の概要

令和5年3月31日現在)

名称	ひくまの		みなみ	まつかさ	やしま		あかね	
種類	生活介護	就労継続支援 B型	就労継続支援 B型	就労継続支援 B型	共同生活 援助	短期 入所	共同生活 援助	短期入所
利用定員	15	40	25	20	7	1	7	1
在籍数	15	47	29	20	7	—	7	—

(2) 施設整備及び主な修繕（100万円を超えるもの）

①施設整備

(単位：千円)

事業所名	内 容	金 額
ひくまの	土地取得（実習農園ひくまのファーム）	21,759千円

②主な修繕

(単位：千円)

事業所名	内 容	金 額
ひくまの	本館西側職員通用口修理	2,090千円
まつかさ	トイレ改修工事	10,835千円

6. 職員構成

(令和5年3月31日現在)

施設等 職種	多機能型事業所 「ひくまの」		就労継続支援B型 「みなみ」	就労継続支援B型 「まつかさ」	共同生活援助 「やしま」	共同生活援助 ・短期入所 「あかね」	計
	就労B	生活介護					
理事長（園長）	1						1
施設長	1		1	1	1	1	5
嘱託医		1 (1)					1 (1)
サービス管理責任者	1(兼) 1	1	1(兼)	1(兼)	1(兼)	1(兼)	2
職業指導員	4 (1)		3 (1)	3			10 (2)
生活支援員	6 (4)	4 (1)	5 (4)	1 (1)	4(兼2) (2)	5(兼1) (4)	22 (16)
看護師		2(兼1) (1)					1 (1)
世話人					6(兼1) (5)	4 (4)	9 (9)
事務員	2 (1)						2 (1)
運転手			2 (2)		*3(3)	*2(2)	7 (7)
計	22 (9)		11 (7)	5 (1)	11 (10)	11 (10)	60 (37)

() 内の数字は非常勤職員の人数で再掲。 ※ グループホーム宿直専門職員

7. 主な年間共通行事

実施日	行 事 名
令和4年6月18日	・家族会総会 書面総会
令和5年1月12日	・新成人を励ますつどい（まつかさ1名）
令和5年1月17日	・新成人を励ますつどい（ひくまの1名）

Ⅱ ひくまの（多機能型事業所）

1. 施設運営

（1）生活介護事業

- ・日常生活に必要な食事、整容、排泄等の介護や働くこと、創作活動などの機会を日中活動の中で提供し、「スマイル」の通称のように利用者の喜びや自己実現を活動を通じて支援し、また、個別支援計画に沿い、きめ細やかな支援を提供した。
- ・本館2階を主会場としてスマイル独自の独立した活動を意識して展開し、利用者の意思決定を大切にしながら日中活動を提供してきた。また生産活動では、スマイル独自の商品を積極的に開発し、販売等につなげてきた。
- ・独自の商品として、ハンガーに毛糸を結び付けて成形したモップや、刺繍をした布を使ってヘアゴム、ブローチ、ストラップを製作した。モップは19点9,500円、刺繍製品は18点15,200円の売り上げを出すことができた。
- ・新型コロナウイルス感染症等への対策として、清潔な環境を整え、手洗い、手指消毒、検温を行い、感染予防に努めたが、8月下旬から9月上旬にかけて、利用者1名の感染者が出た。生活介護内ではそれ以上の感染の広がりにはなかったが、同じ建物、送迎車を利用する就労Bで感染者数が増加したため5日間の休業を余儀なくされ、在籍者数が1名減ったことと合わせて介護給付費の大幅な減額の要因となった。
- ・毎月1回、虐待防止委員会を開催し、業務振り返りシートなどを参考にして、虐待の未然防止に努めた。
- ・安全運転管理者選任事業所として、社用車を運転する職員に対してアルコール検知器での確認を義務化し、安全運転の意識向上を図った。

（2）就労継続支援事業（B型）

- ・働く場として就労の機会を提供し、利用者の働く喜びが保障され、働く力、人として生きていく力が備わるよう個別支援計画に沿い、きめ細やかな支援を提供した。
- ・作業内容は、小規模多機能の形態を維持し、利用者の意思決定が毎日の生活や活動に充分反映されるような日中活動を展開した。
- ・就労継続支援事業所として、新たに「働く」という視点を重要視し、工賃向上も視野に入れた支援体制を目指し、障害の特性に合わせた個別支援体制も充実させてきた。
- ・新型コロナウイルス感染症への対策として、清潔な環境を整え、手洗い、手指消毒、検温を行い、感染予防に努めたが、8月下旬から9月上旬にかけて、事業者内での感染者を拡大させてしまった。（感染者：利用者11人、職員6人）事業所を休園せざるを得なくなり（5日間）、訓練等給付費の大幅な減額の要因となってしまった。
- ・新たな農場（ひくまのファーム）において、小麦、綿の栽培を行い、和光アグリパートナーとの連携で里芋の栽培、納品までを行った。（里芋の初年度売り上げ 128,907円）
- ・毎月1回、虐待防止委員会を開催し、業務振り返りシートなどを参考にして、虐待の未然防止に努めた。
- ・安全運転管理者選任事業所として、社用車を運転する職員に対してアルコール検知器での確認を義務化し、安全運転の意識向上を図った。

2. 中期経営計画（別紙）

3. 施設利用状況

(1) 生活介護 (定員15名)

項目		単位	令和4年度実績	令和3年度実績	令和2年度実績
施設利用状況	開所日数	日	253	258	259
	契約者数	人	15	16	17
	延べ人数	人	3,437	3,840	4,074
	1日平均	人	13.6	14.9	15.7
	利用率	%	90.6	99.2	104.8

・利用者の状況 (令和5年3月31日現在)

地域別	浜 松 市							磐田市	掛川市	湖西市	合 計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区				重複所持	手帳なし
年齢別	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～64歳	65歳以上	性別	男	女	15	
	0	4	6	4	1	0	0		10	5		
障害支援区分別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均支援区分	未判定				
	2	5	8	0	0	0	4.6	0				
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複所持	手帳なし
	1級	2級	3級	4級	5級以上	A	B	1級	2級	3級	2	0
	0	1	1	0	0	14	1	0	0	0		

(2) 【就労継続支援B型】 (定員40名)

項目		単位	令和4年度実績	令和3年度実績	令和2年度実績
施設利用状況	開所日数	日	253	258	259
	契約者数	人	47	47	46
	延べ人数	人	10,402	10,993	10,737
	1日平均	人	41.1	42.6	41.4
	利用率	%	102.8	106.5	103.6

・利用者の状況 (令和5年3月31日現在)

地域別	浜 松 市							磐田市	掛川市	湖西市	合 計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区				重複所持	手帳なし
年齢別	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～64歳	65歳以上	性別	男	女	47	
	0	13	15	9	6	2	2		28	19		
障害支援区分別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均支援区分	未判定				
	1	2	10	14	8	0	3.3	12				
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複所持	手帳なし
	1級	2級	3級	4級	5級以上	A	B	1級	2級	3級	2	0
	1	1	0	0	1	26	20	0	0	0		

4. 就労支援事業

(1) 生活介護(スマイル)：全体

(単位：円)

事業	令和4年度収入	令和3年度収入	差額
自主作業	59,862	58,320	1,542
下請作業	217,186	183,879	36,887
合計	277,048	242,199	34,849

①自主作業

(単位：円)

作業種目	令和4年度収入	令和3年度収入	差額
果樹園芸	37,220	50,720	△13,500
染織縫製	22,642	7,600	15,042
合計	59,862	58,320	1,542

(2) 就労継続支援B型：全体

(単位：円)

事業	令和4年度収入	令和3年度収入	差額
自主作業	2,192,004	3,246,980	△1,054,976
下請作業	9,691,938	9,946,757	△254,819
合計	11,883,942	13,193,737	△1,309,795

①自主作業

(単位：円)

作業種目	令和4年度収入	令和3年度収入	差額
果樹園芸	251,527	1,306,480	△1,054,953
染織縫製	341,627	254,115	87,512
食品科	1,598,850	1,686,385	△87,535
合計	2,192,004	3,246,980	△1,054,976

②受託作業

(単位：円)

作業種目	令和4年度収入	令和3年度収入	差額
施設外就労	7,438,679	7,421,064	17,615
優先調達関連作業	421,300	416,900	4,400
下請作業	1,809,159	2,070,138	△260,979
その他販売手数料	22,800	38,655	△15,855
合計	969,1938	9,946,757	△254,819

5. 工賃実績

(1) 生活介護事業：月別

(単位：円)

工賃	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度
総支給額	13,430	35,870	16,850	16,800	16,850	25,830	20,870	20,850	20,870	14,840	14,850	46,830	264,740	273,600
月最高額	1,400	25,560	1,660	1,670	1,780	2,930	2,230	2,300	2,280	1,570	1,450	3,600	4,035	1,987
月額最低額	290	200	410	600	610	1,010	610	540	470	480	350	2,490	671	769
月平均額	839	2,241	1,053	1,050	1,123	1,722	1,391	1,390	1,391	989	990	3,122	1,441	1,397

※令和5年3月は年度末手当（一律2,000円、計¥30,000）を含む。

※工賃支給対象者に、年度途中入所者、及び退所者、入院中の利用者も含む。

(2) 就労継続支援B型事業：月別

(単位：円)

工賃	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度
総支給額	749,820	768,100	768,080	828,080	728,090	709,750	709,940	709,780	709,770	1,049,750	899,620	1,536,770	10,167,550	10,247,080
月額最高額	39,880	48,180	39,390	42,380	38,140	39,170	39,250	41,490	38,680	57,940	46,180	77,220	45,658	42,404
月額最低額	3,270	3,830	1,970	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	3,130	3,440	8,860	2,541	6,522
月平均額	15,954	16,343	16,342	17,619	15,491	15,101	15,105	15,102	15,101	22,335	19,141	32,697	18,027	18,234

※令和5年3月度末手当（作業量に応じて、計¥405,000）を含む。

※工賃支給対象者に、年度途中入所者、及び退所者、入院中の利用者も含む。

6. 生活支援

(1) クラブ活動

クラブ名	講師	参加人員	備考
卓球クラブ	木村由美子、小林利到子	7名	毎月1回実施
アートクラブ	職員	7名	毎月1回実施
ダンスクラブ	ヒロタツダンスシティ	8名	毎月1回実施
アクティブクラブ	職員	8名	毎月1回実施
パラスポーツクラブ	職員	9名	毎月1回実施
美味しんぼクラブ	職員	6名	毎月1回実施

- ・活動写真を利用して利用者さんが希望したクラブで楽しく活動した。卓球クラブ、パラスポーツクラブに関しては新型コロナウイルスの影響で今年度もわかふじスポーツ大会は不参加であった。（卓球クラブは事業所内での大会を開催）3月に行われた「感謝の集い」において、各クラブが1年間の活動発表を行った。
- ・生活介護（スマイル）では、新型コロナウイルスの影響等で愛護ギャラリー展などへの出展はできなかったが、アートクラブ、ウォーキングクラブ、音楽クラブなどの活動を継続して行った。アートクラブでは季節ごとの絵を活動エリアの壁面に作成し、ウォーキングクラブでは近隣の大きな公園に行き散策をした。音楽クラブでは手作りマラカスや太鼓等を鳴らしながら、曲に合わせて思い思いの表現をした。

(2) 茶話会

毎月1回(毎月最終の平日)に、工賃分配及び誕生会、話し合い、レクリエーション等を行った。利用者の親睦及び利用者の意見交換の場として大切に位置づけてきた。その月の誕生者には、今年度はいもねこ工房の「ネーム入りミニチュア凧」をプレゼントし、全員でお祝いをした。

秋の旅行は今年度も新型コロナウイルスの影響の為に中止となったが、代替えとして仕出しの昼食をみんなで一緒に食べ、午後はカラオケやドライブなどのレクリエーションを実施した。

7. 災害防止対策

学園内の事故防止、通園途中の交通事故防止についての指導をその都度実施した。

また火災、地震を想定した防災訓練を3ヶ月に1回実施し、合わせて防災設備の自主点検を行った。

実施日	訓練種目	参加者	発生時刻	内 容
令和4年 5/25 (木)	地震避難	利用者 54人 職員 16人 70人	14時00分	・午後の作業中に地震が発生したことを想定し、利用者の迅速な安全確認と誘導を行う。(所要時間2分35秒)
7/27 (水)	火災避難 消火器初期消火 消防署への通報	利用者 57人 職員 17人 74人	13時30分	・作業中に厨房より出火したことを想定し、伝達を正確に行い利用者の迅速な安全確認と誘導を行う。 ・消防署への通報及び消火器の初期消火訓練を実施する。(所要時間4分)
11/4 (金)	火災避難 バケツリレー のよる初期消火訓練	利用者 46人 職員 18人 64人	11時00分	・午前の作業時に厨房より出火。受託業者の納品と重なってしまい、所要時間が長くなってしまった(6分50秒) ・バケツリレーは希望者10人程が参加し、上手にリレーをして火点に水をかけることができた。
令和5年 3/1 (水)	地震避難	利用者 48人 職員 20人 68人	14時00分	・一時避難、二次避難所への移動ともスムーズに行うことができた。 (所要時間5分5秒) ・スマイルのヘルメットが4つ不足しており、事前の確認が必要であった。

8. 地域公益事業

(1) 生活困窮者就労訓練事業の実態

受け入れはなかったが、引き続き自立相談支援機関(生活自立相談支援センター「つながり」)と連携して受入れ準備をしてきた。

9. 福祉施設実習及び産業現場等における実習

福祉施設実習の受入れは2校、産業現場等における実習の受入れは2校であった。

月	来客者数		見学者数		実習者数		ボランティア数		備考
	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	
4	5	4	2	1		1	12	7	
5		6	7	7		2	15	8	
6	4	13	1	6	5	3	18	10	
7	3	2	2	2	2	2	13	8	
8	4	1	3	4		2	4	4	
9	4		2	1			5	4	
10	3	4	4	1	2		17	5	
11	1	3	3	1	4	2	15	9	
12	2	1		1	1		10	5	
1	8	5					10	10	
2	2	4					9	6	
3	13	4	1				7	9	
計	49	47	25	24	14	12	135	85	

Ⅲ み な み (就労継続支援B型事業所)

1. 施設運営

- ・事業所が日々明るく楽しい生活の場でなくてはならないという観点を重視し個別支援計画に基づいて本人の希望や家族の思いが充分反映されるよう一人一人にきめ細やかな支援を心がけて活動を行なった。
- ・作業を通じて働くことを経験し頑張ったことを工賃に反映することで働く喜びを提供した。
- ・療育的な支援や余暇活動の充実・日常生活動作の支援等、総合的な支援を行なった。

2. 中期経営計画 (別紙)

3. 施設利用状況 (定員25名)

項 目		単位	令和4年度 実績	令和3年度 実績	令和2年度 実績
施設利用状況	開所日数	日	258	258	259
	契約者数	人	27(退所2名)	29(退所0名)	29(退所0名)
	延べ人数	人	6,218	6,580	6,843
	1日平均	人	24.1	26.3	25.4
	利 用 率	%	96.4	105.2	101.6

・利用者の状況 (令和5年3月31日現在)

地域別	浜 松 市							磐田市	掛川市	湖西市	合 計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区					
	4	1	14	7	3	0	0	0	0	0	27	
年 齢 別	18歳 ～19歳	20歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 以上	性別	男	女		
	0	11	6	7	1	1	1		21	6		
障害支援 区 分 別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均支援区分	未判定				
	7	6	7	3	2	0	4.3	1				
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複 所持	手帳 なし
	1級	2級	3級	4級	5級以上	A	B	1級	2級	3級		
	3	1	0	0	1	23	6	0	2	1	7	0

4. 就労支援事業：全体

(単位：円)

事 業	令和4年度収入	令和3年度収入	差 額
自主作業	834,440	602,957	231,483
下請作業	4,227,932	4,700,509	△472,577
合 計	5,062,372	5,303,466	△241,094

①自主作業

(単位：円)

作業種目	令和4年度収入	令和3年度収入	差 額
果樹園芸	117,074	106,140	10,934
染織縫製	717,366	496,817	220,549
合 計	834,440	602,957	231,483

②受託作業

(単位：円)

作業種目	令和4年度収入	令和3年度収入	差 額
公園環境整備	4,227,932	4,700,509	△472,577
清掃作業			
下請作業			
合 計	4,227,932	4,700,509	△472,577

5. 工賃実績：全体

(単位：円)

工 賃	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度
総支給額	379,730	351,770	385,810	369,800	363,810	394,700	396,690	397,720	528,740	352,800	353,810	392,830	4,668,210	4,819,840
月額最高額	35,610	32,180	33,800	32,220	33,420	32,830	37,090	36,100	45,860	34,820	33,570	36,580	35,340	33,227
月額最低額	2,530	1,000	1,000	1,000	1,000	2,290	2,410	2,300	6,670	1,000	1,000	2,540	2,062	2,009
平均工賃月額	13,094	12,130	13,304	13,207	12,993	14,096	14,168	14,204	18,884	13,067	13,104	14,549	13,893	13,654

※令和4年12月の総支給額は賞与（一律5,000円、¥135,000）を含む。

※工賃支給対象者に、年度途中退所者、入院中の利用者も含む。

6. 生活支援

(1) クラブ活動

利用者の希望を取り入れて、絵画・書道・手工芸・イングリッシュ・レクリエーション等のクラブ活動を実施した。

(2) 茶話会

毎月1回茶話会を行い、工賃分配及び誕生会、話し合い、レクリエーション等を行った。利用者の親睦及び意見交換の場として大切に位置づけ、その月の誕生者には就労継続支援B型事業所なぎさ作業所（浜名学園）の花鉢のプレゼントを渡し、また皆勤者にはその努力をたたえた。

社会体験旅行は今年度もコロナ感染症対策として中止した。代替として10月の茶話会でお楽しみ食事会を行なった。

(3) 社会活動

利用者が楽しく豊かな日常生活を送ることができるように、併設している販売所で地域の方との触れ合いを大切にするなど地域社会の活動等に積極的にとりくんだ。

(4) 健康管理

- ・年1回の聖隷予防検診センターによる健康診断を実施した。
- ・月1回の体重血圧測定を行った。
- ・新型コロナウイルス感染症防止対策として、これまでのうがい手洗い、手指の消毒以外に換気や室内へのアルコール消毒を強化し、万全の体制を整えて支援した。

7. 災害防止対策

実施日	訓練種目	参加者	発生時刻	内 容
令和4年 5/7 (土)	不審者 防犯訓練	利用者 21名 職員 3名 24名	10時00分	不審者が建物内に侵入したことを想定して行った。利用者を避難させるとともに、支援者が椅子を使い不審者を確保。警察に通報。(模擬)
7/9 (土)	火災 避難訓練	利用者 22名 職員 4名 26名	10時00分	1階作業室より、火災発生を想定。消防署への通報。消火器等により初期消火(模擬)避難指示を出し、屋外へ避難した。
11/12 (土)	地震・火災 避難訓練	利用者 22名 職員 4名 26名	10時00分	地震発生を想定。安全が確認できるまで、机の下にもぐった。その後、火災発生を想定。避難指示を出し、屋外へ避難した。
12/17 (土)	地震 避難訓練	利用者 16名 職員 4名 20名	10時00分	地震発生を想定。安全が確認できるまで、机の下にもぐった。ヘルメットを着用し、屋外へ避難した。その後、防災に関するクイズも行った。

8. 地域公益事業

(1) 生活困窮者就労訓練事業の実態

自立支援機関(生活自立相談支援センター「つながり」)の斡旋に応じて、就労に困難を抱える生活困窮者の受け入れを継続しているが、伺いや受け入れはなかった。

9. 福祉施設実習及び産業現場等における実習

職場体験実習の受け入れは2校、職員職場体験研修の受け入れは1校あった。

月	来客者数		見学者数		実習者数		ボランティア数		備考
	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	
4	3	6	2	4		1	10	31	
5	2	16					10	3	
6	2	12		4	2	1	4	1	
7	5	18					9	4	
8	5	7	8		1		6	16	
9	4	8					0	11	
10	16	13	1				13	13	
11	10	6				1	9	11	
12	7	9	1		1		11	8	
1	6	8	2				2	2	
2	7	9					12	8	
3	8	6				1	13	5	
計	75	118	13	8	4	4	99	113	

IV まつかさ（就労継続支援B型事業所）

1. 施設運営

まつかさは、就労継続支援B型事業所として、「働く」という視点を重視し、就労の機会を提供することを心がけてきた。施設外での作業も定着し、多くの利用者さんが施設外の作業を経験することになり、働く力の向上につながった。

本人の希望や家族の思いが十分反映されるよう、面談を随時実施し、きめ細かな支援を心がけてきた。また通勤途中の交通安全と災害時の安全についても配慮し、その確保を行った。

特に、令和2年度から3年間継続してのコロナ禍にあり、令和4年度は市内の感染者数が増え状況が緊迫した時には、在宅での就労を希望する利用者さんに対して在宅支援（テレワーク）を実施した。

2. 中期経営計画（別紙）

3. 施設利用状況（定員20名）

（令和4年3月31日現在）

項目		単位	令和4年度実績	令和3年度実績	令和2年度実績
施設利用状況	開所日数	日	258	258	259
	契約者数	人	19	20	20
	延べ人数	人	4,641	4,584	4,444
	1日平均	人	18.0	17.8	17.1
	利用率	%	89.9	88.8	85.8

・利用者の状況（令和4年3月31日現在）

地域別	浜松市							磐田市	掛川市	湖西市	合計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区					
	11	3	1	2	2	0	0	0	0	0	19	
年齢別	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～64歳	65歳以上	性別	男	女		
	0	10	6	2	0	0	1		13	6		
障害支援区分別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均支援区分	未判定				
	0	0	5	5	3	0	3.2	6				
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複所持	手帳なし
	1級	2級	3級	4級	5級以上	A	B	1級	2級	3級		
	0	0	0	0	0	11	8	0	0	0		

4. 就労支援事業：全体

（単位：円）

事業	令和4年度収入	令和3年度収入	差額
自主作業	581,804	483,540	98,264
受託作業	2,467,935	2,375,765	92,170
合計	3,049,739	2,859,305	190,434

①自主作業

(単位:円)

作業種目	令和4年度収入	令和3年度収入	差 額
果 樹 園 芸	12,150	0	12,150
織 染 縫 製	569,654	483,540	86,114
合 計	581,804	483,540	98,264

②受託作業

(単位:円)

作業種目	令和4年度収入	令和3年度収入	差 額
農 場 作 業	2,467,935	2,375,765	92,170
清 掃 作 業			
下 請 作 業			
合 計	2,467,935	2,375,765	92,170

5. 工賃実績

(単位:円)

工 賃	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度
総支給額	199,910	199,880	200,910	200,880	200,890	200,920	200,890	201,000	300,900	199,910	189,90	468,070	2,764,060	2,583,500
月額最高額	15,740	15,07	14,390	14,950	14,680	15,150	16,290	14,960	20,530	14,780	14,160	33,000	16,975	15,836
月額最低額	3,660	4,270	4,000	3,690	3,210	3,760	4,370	1,600	6,000	1,000	4,920	14,860	4,612	3,505
平均工賃月額	9,996	9,994	10,046	10,044	10,045	10,046	10,045	10,050	15,045	9,996	9,995	24,635	11,614	10,765

※令和4年12月は賞与（一律5,000円、¥100,000）、令和5年3月は年度末手当（一律5,000円、¥95,000）を含む。

※工賃支給対象者に、年度途中入所者、及び退所者、入院中の利用者も含む。

6. 生活支援

(1) 茶話会

毎月月末には、誕生月を迎えた方にはプレゼントを渡しお祝いをした。

(2) 社会活動

利用者が楽しく豊かに毎日を送ることができるように、特に土曜日を利用して社会資源の見学やレクリエーション、ボランティアなどの活動予定であったが、コロナ禍のために実施ができなかった。恒例の社会体験旅行も継続して中止となり、代わりに市内のレストランを貸し切りでのお楽しみ食事会を催した。

7. 災害防止対策、交通安全・防犯講習

実施日	訓練種目	参加者	発生時刻	内 容
令和4年 5/27 (金)	防災訓練 地震・火災 ・避難	利用者 17名 職員 4名 21名	12時50分	日本シェイクアウト提唱会議の訓練音源を使って訓練開始。身の安全を守る行動から避難行動、その後発生した火災の消火訓練まで実施した。
令和4年 8/12 (金)	防犯講習	利用者 17名 職員 5名 22名	9時15分 ～1時間	浜松市中央警察署生活安全課の協力を得て講習を実施。不審者、不法侵入者への対応から、日常にある犯罪行為について緊張感をもって学んだ。
8/17 (水)	交通安全 講習	利用者 18名 職員 5名 23名	10時30分 ～75分間	浜松市中央警察署交通安全指導課の協力を得て講習を実施。坂下の中沢西交差点（飛龍街道）の横断歩道を実際に横断した。また事業所内では投影機を使っての交通安全教室を見て楽しく学んだ。
11/1 (火)	防災訓練 地震・火災 ・避難	利用者 17名 職員 5名 22名	12時40分	訓練音源を使って地震の発生を知らせて訓練開始。身の安全を守る行動から避難行動、その後発生した火災の消火訓練までを実施。訓練後には、防災器具庫の確認を行った。
	情報伝達 訓練			終了後には、中消防署には伝達訓練し、市には実施報告を後日メール送信した。
令和5年 1/23 (月)	避難訓練 地震・火災・ 避難	利用者 18名 職員 5名 23名	12時40分	訓練音源を使って訓練開始。身の安全を守る行動から避難行動、その後発生した火災の消火訓練やヘルメットの着用まで確認した。訓練後には、防災器具庫の整理を行った。
2/22 (水)	避難訓練 火災・避難	利用者 18名 職員 5名 22名	10時15分	事業所に合わせて施設外就労先企業でも火災による避難訓練を実施した。企業内の火災や地震発生時の危険個所について改めて確認できた。

8. 福祉施設実習及び産業現場等における実習

実習の受入れは浜松特別支援学校、浜北特別支援学校の2校であった。

月	来客者数		見学者数		実習者数		ボランティア数		備考
	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	
4	23	24	2	2	0	0	4	3	
5	23	13	3	0	0	0	5	6	
6	45	47	0	0	18	10	4	4	
7	18	16	5	4	0	0	4	5	
8	35	15	0	2	2	0	2	4	
9	11	14	3	0	0	0	1	2	
10	21	16	18	5	0	0	10	1	
11	27	28	2	0	6	0	3	4	
12	22	22	2	5	0	7	6	4	
1	15	13	0	0	0	0	3	4	
2	8	21	0	1	0	0	3	4	
3	21	20	0	6	0	0	4	4	
計	269	249	35	25	26	17	49	45	

V やしま (共同生活援助：グループホーム)

1. 施設運営

- 共同生活援助事業

個別支援計画に基づいて利用者一人一人の希望や思いに寄り添い、心身共に安定した日々の生活の充実を図った。

また、社会的マナーやルールを身につけ、自立した生活に向けて総合的な支援を行なった。

- 短期入所事業

家庭のレスパイト支援を優先し、自宅での生活が一時困難になった利用者が快適に過ごせるよう、食事の提供、入浴支援等を行った。また共同生活援助事業の利用者と協調性を持ちながら利用者個々の要望に沿った支援を行い、やしまで過ごす時間が充実できるよう支援した。

2. 中期経営計画 (別紙)

3. 施設利用状況

(1) 共同生活援助 (令和4年定員7名)

項目		単位	令和4年度実績	令和3年度実績	令和2年度7~3月実績	令和2年度4~6月実績
施設利用状況	開所日数	日	365	365	274	91
	契約者数	人	7	7	7	3
	延べ人数	人	2305	2404	1,783	271
	1日平均		6.4	6.5	6.5	3
	利用率	%	90.2	94	93	75

・利用者の状況 (令和4年3月31日現在)

地域別	浜松市							磐田市	掛川市	湖西市	合計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区				重複所持	手帳なし
年齢別	18歳~19歳	20歳~29歳	30歳~39歳	40歳~49歳	50歳~59歳	60歳~64歳	65歳以上	性別	男	女	7	
障害支援区分別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均支援区分	未判定				
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳				
	1級	2級	3級	4級	5級以上	A	B	1級	2級	3級		
	2	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	2	1	1	0			7	0			
	0	0	3	4	0	0	3.42	0				
	0	0	0	0	0	6	1	0	0	0	0	0

(2) 短期入所 (定員1名) (令和2年8月1日より事業開始)

項目		単位	令和4年度実績	令和3年度実績	令和2年度8月1日~実績
施設利用状況	開所日数	日	365	365	243
	契約者数	人	19	19	19
	延べ人数	人	520	595	306
	稼働日数		316	342	162
	稼働率	%	86.6	93.6	67

・契約者の状況 (令和5年3月31日現在)

地域別	浜松市							磐田市	掛川市	湖西市	合計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区					
	3	2	4	8	0	0	0	1	0	1	19	
年齢別	18歳 ～19歳	20歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 以上	性別	男	女		
	0	9	4	5	1	0	0	19	0			
障害支援 区分別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均支援区分	未判定				
	8	2	4	3	2	0	4.56	0				
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複 所持	手帳 なし
	1級	2級	3級	4級	5級以上	A	B	1級	2級	3級		
	1	0	0	0	0	17	2	0	0	1	2	0

4. 支援内容

(1) 日常生活動作支援

食事、排泄、入浴、洗濯、清掃、身だしなみを整える等、手際のよい身辺処理ができるよう支援した。

(2) 余暇活動の支援

コロナ禍であり、外出・外食等の活動は控えることとなり、寮内での活動を中心にレクリエーション、身体活動、創作活動等、ご本人の希望をうかがいながら、出来る限りの支援を行った。

〈やしま支援活動〉

活動名	実施回数	活動内容
年中行事	9回	入所利用者の誕生祝い、クリスマス会、豆まき他
地域の行事参加	0回	コロナ禍にあり、行事への参加は控えた
販売会见学	1回	四季彩堂販売会
買い物支援	月1~2回	随時買い物に同行した。
散歩・園芸	毎週末	近隣の散歩、生け花、草取り
一人での外出	6回	一人で路線バスを利用し、買物、散髪他
身体活動・レクリエーション	週1回	体操教室の講師による指導で活動を楽しんだ。

共同生活をする仲間として、お互いを思いやる気持ちを大事にし、仲間意識を持てるよう、お互いが役割を持って参加し楽しめるよう支援を行った。

(3) 健康管理

内科・外科・歯科への通院の支援を行った。また、定期的に歯みがき支援や服薬管理を行った。

毎日朝夕の検温、お茶のうがいや手洗い及び手指の消毒の徹底等、インフルエンザの予防や新型コロナウイルス感染症防止対策を行なった。

(4) 菜園管理

野菜の栽培や収穫を体験し、料理に活用する等して菜園での活動を楽しんだ。

5. 災害防止対策

実施日	訓練種目	参加者	発生時刻	内 容
令和4年 4/30 (土)	火災避難 訓練	利用者 7名 職員 4名 11名	6時00分	2階物置から火災が発生を想定。非常時の放送と口頭での呼びかけを行う。野外へ避難する。
7/11 (月)	火災消火 避難訓練	利用者 8名 職員 3名 11名	17時00分	台所から火災発生。消火器にて模擬消火に当たる。利用者は退室し野外へ避難する。
10/28 (金)	火災・通報 消火訓練	利用者 7名 職員 2名 9名	6時00分	2階の居室から火災発生を想定。消防署への通報・消火訓練（模擬）を行う。
12/4 (日)	火災・消火 避難訓練	利用者 8名 職員 3名 11名	17時00分	東海地震を想定しまた、台所より火災発生を想定。自動火災報知機が作動。利用者の避難指示を出し、初期消火に当たる。
令和5年 3/13 (月)	不審者 防犯訓練	利用者 8名 職員 4名 12名	6時00分	やしまの出入り口に不審者がいる事を確認し侵入するという想定で行った。西警察署に通報し指示を仰ぐ(模擬)。避難経路確認。

6. その他

- ①個別支援計画について、本人との面談を随時行う。また、3ヶ月毎に支援会議を行う。
- ②虐待防止についてチェックリストを活用した。
- ③新型コロナウイルス感染症防止対策として、うがい手洗い、手指の消毒・換気や室内へのウイルス除去スプレーの散布等、万全の体制を整えて支援した。

VI あかね（共同生活援助：グループホーム、短期入所：ショートステイ）

1. 施設運営

・共同生活援助事業

知的な障害者に対して「住まいの場」を提供し、自立に向けた必要な技能や地域の中で生活していく為のルール等、総合的支援を行った。

また、利用者さんの思いによりそい、より個別化した支援が行えるよう努力した。相談支援事業所とも密接な連携を取りながら、利用者の意思決定を大切に生活の充実を図った。

・短期入所事業

家庭のレスパイト支援を優先し、自宅での生活が一時困難になった利用者が快適に過ごせるよう、食事の提供、入浴支援等を行った。また共同生活援助事業の利用者と気持ちよく過ごせるようコミュニケーションの疎通を図り、滞在する利用者個々の要望に沿った支援を行った。

2. 中期経営計画（別紙）

3. 施設利用状況

（1）共同生活援助（定員7名）

項 目		単位	令和4年度 実績	令和3年度 実績	令和2年度 実績
施設利用状況	開所日数	日	365	365	365
	契約者数	人	7	7	7
	延べ人数	人	2,372	2,440	2,449
	1日平均		6.5	6.6	6.7
利 用 率	%	92.8	95.5	95.8	

・利用者の状況（令和5年3月31日現在）

地 域 別	浜 松 市							磐田市	掛川市	湖西市	合 計		
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区				性別	男	女
	1	0	1	0	4	1	0	0	0	0			
年 齢 別	18歳 ～19歳	20歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 以上	性別	男	女			
	0	1	2	2	0	1	1		0	7			
障害支援 区 分 別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均支援区分	未判定					
	0	2	4	1	0	0	4.1	0					
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複所持	手帳なし	
	1級	2級	3級	4級	5級以上	A	B	1級	2級	3級			
	0	0	0	0	0	6	1	0	0	0	1	0	

（2）短期入所（定員1名）

項 目		単位	令和4年度 実績	令和3年度 実績	令和2年度 実績
施設利用状況	開所日数	日	365	365	365
	延べ利用者数	人	368	450	409
	稼働日数	人	282	328	300
	利 用 率	%	77.3	89.9	82.1

・利用者の状況 (令和4年3月現在)

地域別	浜松市							磐田市	掛川市	湖西市	合計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区				重複所持	手帳なし
	2	6	4	2	3	0	0	0	0	1	利用実人員 18	
年齢別	18歳 ～19歳	20歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 以上	性別	男	女		
	0	5	8	2	1	2	0		8	9		
障害支援 区分別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均支援区分	未判定				
	0	2	8	6	2	0	3.5	0				
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複 所持	手帳 なし
	1級	2級	3級	4級	5級以下	A	B	1級	2級	3級		
	0	0	0	0	0	14	4					

4. 支援内容

(1) 日常生活動作支援

食事、排泄、入浴、洗濯、清掃、身だしなみを整える等、手際の良い身辺処理ができるよう支援した。また、夜間の不眠者に対し、医療面の対応と同時に本人の気持ちに寄り添う支援を行った。

(2) 余暇活動の支援

休日には、市内の公園の散策、買い物支援等を行い、余暇時間の充実を図った。コロナ禍の中、地域で開催される行事の中止が多い中、法人のイベント等の外出の際のマナーやルールについて支援した。室内では料理やレクリエーション等の楽しみをもった活動を支援した。

〈あかね支援活動〉

活動名	実施回数	活動内容
レストランの日	1回	市内のレストランにて外食等は控え、1回のみ。
市内散策	6回	浜名湖ガーデンパーク、浜松市動物園、図書館、フルーツパークイルミネーション、都田運動公園、龍潭寺花桃の里 等。
年中行事	11回	入所利用者の誕生祝い、クリスマス会 他。
地域の行事参加	0回	百園自治会夏祭り、(福)和光会夏祭り等は中止。防災訓練。
販売会见学	1回	四季彩堂販売会见学。
移動支援	33回	移動支援サービスを利用し、外出する(1名)
買い物支援	月1～2回	随時買い物に同行する。
料理	10回	焼きそば、お好み焼やサラダ、バーベキュー、鍋料理、デザート作り等を楽しむ。
散歩・園芸	毎週末	近隣の散歩、プランターへの灌水、生け花、草取り
一人での外出	月1回	一人で路線バスを利用し、買い物、美容院 等。

共同生活をする仲間として、お互いを思いやる気持ちを大事にし、仲間意識を持てるようお互いが役割を持って参加し楽しめるよう支援を行った。

(3) 健康管理

内科・歯科・皮膚科・神経科・耳鼻科への通院の支援を行った。5回のコロナワクチン接種や定期的に歯みがき支援や治療のための支援を行った。

帰宅後のお茶のうがいや手洗いの徹底をはかり、感染症等の予防を行った。

5. 災害防災対策

避難訓練を行った。

実施日	訓練種目	参加者	発生時刻	内 容
令和4年 7/18 (月)	火災・避難	利用者 6名 職員 3名 その他 1名 10名	16時00分	入浴準備中203号室より出火を想定。 煙を吸い込まないようにマスク等で 口を覆い駐車場に避難した。 ※消火器の点検
11/15 (火)	地震・避難	利用者 7名 職員 3名 その他 1名 11名	16時15分	館内放送で地震発生の場合の合図を行い、テ ーブルの下やトイレに隠れるように指 示をした。揺れが収まってからヘルメ ットをかぶり外靴を履き駐車場に避難 を完了した。
12/4 (日)	地震・避難	利用者 5名 職員 3名 その他 1名 7名	10時55分	東海地震発生を想定し館内放送で、 地震発生の場合の合図を行いテーブルの下に 身を隠した。揺れが収まってからヘル メットを着用し駐車場に一時避難し、 全員無事であることを確認し地域避難 所である百園会館に移動した。
令和5年 3/6 (月)	火災・避難	利用者 7名 職員 3名 ショート 1名 11名	16時17分	台所より出火を想定。館内放送で火災 発生の場合の合図で、マスク等で口を覆い煙 を吸わないよう指示し、上靴のまま玄 関より速やかに駐車場に避難した。 歩行困難の方は、最後に介助し避難し た。 ※消火器の点検
3/13 (月)	火災・通報	利用者 7名 職員 3名 その他 1名 11名	17時00分	一階台所より出火を想定して消防署へ の通報を行った。